

お世話になります!

アイサスのお仕事

クライアント突撃レポート

アイサスのナビゲーター(案内人)がinformation bridgeをご利用頂いたお客様のもとへお伺いし、対談するコーナーです。

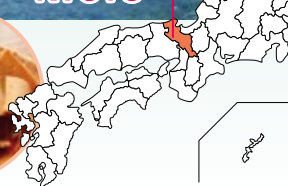
一般社団法人 京都府建設業協会 様 X 株式会社アイサス

嵐山

今回は
京都府



KYOTO



一般社団法人
京都府建設業協会
専務理事
中村 敬二様

一般社団法人
京都府建設業協会
会長
小崎 学様

Navigator
株式会社アイサス
代表取締役
百成 公鋭



今回は京都府建設業協会様にインタビューにご協力をいただきました。弊社とのコンソーシアムについて・建設業界の動向について詳しくお聞きしました。

百成 弊社とのコンソーシアムを行うことを決めた理由を教えてください。また全国に複数社ベンダーがある中、弊社を選んでいただいた理由を教えてください。

小崎様 平成 24 年度から当協会土木委員会を中心に「京都府・京都市情報共有実証実験業務」として 3 年間実証実験を行い、当協会と京都府が共同で実施したアンケートでシステムの利便性が高く評価されたため、御社のシステムを推奨することとしたものです。また、他府県協会からの推奨もあったため決定をさせていただきました。今後も建設現場における労働時間の削減につながるため、コンソーシアムを継続していきたいと考えています。

百成 講習会内容や頻度について協会様の評判や反応はどうですか？また弊社の営業・サポートの対応はいかがですか？

中村様 講習会は各支部で年間10回程度開催いただくとともに、開催頻度やWEB講習会への参加など柔軟に対応いただいております。土木CPDS、建築CPDの単位も取得できるので、会員様からも好評いただいております。営業やサポートに関しても、こちらの要望にきちんと対応していただいております。

百成 ありがとうございます。今後ともより一層精進してまいります。

百成 建設業界では今後、若年層の獲得は必須と考えられています。若年層担い手確保のためにどのような取組をされていますか？

中村様 府内の土木・建築系学科の高校生を対象にインターンシップや現場見学を実施しています。また、普段はベンチとして利用し、防災時にはかまどとして使える「かまどベンチ」を青年部会や小・中・高等学校と共同で設置をしています。小学校では、カラフルなタイルで素敵に装飾してもらうなど地域貢献をするとともに交流も

生まれました。今後も工業系高校と連携した事業を展開していきたいと考えています。

百成 建設産業への女性参入推進活動についてどう考えますか？

小崎様 近年女性にとって働きやすい環境が整いつつあります。一層の環境整備と広報活動が必要だと認識しています。その上で女性だからといって特別扱いをしてはいけなないと考えます。実際に社員からは、「女性だからと言って特別扱いをしてほしくない。」との声が挙がってきています。男女平等であることは当然ですし、今では現場にトイレ・更衣室を設置することは、当然のことであると思います。

百成 現状、建設業界では男女問わず働き手が少ないことや他業種に比べ、女性の働き手が少ないといった課題があります。女性だからといって特別扱いするといったことではなく、女性が建設業で働くことが当たり前となるような活動が必要ですね。

小崎様 雇用に対しても性別を問わないことが非常に大切かと思えます。また、ユニバーサルデザインに対応することも非常に重要であると考えています。

百成 今後、建設業の働き手が増加していくには何が重要だと考えますか？

小崎様 働き手確保のためには、「新 3K」や「ICT 技術」は PR し、多くの方に見てもらふことや仕事をしていく上での「給与」「やりがい」が大切だと考えています。だが、最も大切なことは仕事が好きであることです。これから建設業に従事する方に対しては、「仕事を好きになってもらうこと。」これが我々の仕事ですね。

百成 最後に協会様のこれからの展望をお聞かせください。

小崎様 まずは第一に市民の安心安全を守ることです。京都といえ 1000 年の都。街並みを保存しながら時代に合ったまちづくりを進めていく大きな使命を担っています。その誇りを持ち続けて、必ず働きたいという人がいると思っています。次の世代にも建設業をやりがいのある産業・業界として引き継いでいきたい所存です。

百成 本日はありがとうございました。